活動分野：	教育・人材育成
研究者名（研究グループ名）：	神原一之（学習支援ルーム　らび）

活動概要

平成27年度から４年間継続して西宮市教育委員会の後援をいただき，文学部教育学科神原一之ゼミの学生20名を中心に，武庫川女子大学学校教育館にて近隣の小学生を対象に学習支援活動を継続して行っています。前後期とも毎週１回（全10回×２），認知カウンセリングの手法を用いたマンツーマンによる算数学習の支援を1時間行い、その後学生たちと子どもたちがレクレーション活動を30分間行っています。学習支援料金は無料で、活動保険代金として２００円のみいただいています。

活動内容

活動･研究･委託テーマ	小学生を対象とした算数学習の支援
対象となる地域・企業等	武庫川女子大学近隣の小学校区
活動学生(ゼミ･学年等)	文学部教育学科神原一之ゼミ（３年生・４年生）
連携時期	５月～７月、１０月～１月
学外への広報方法	ロコミ、近隣小学校へのプリント配布
連携内容	算数の学習支援を希望する児童に対して、認知カウンセリングを用いてマンツーマンで算数学習の学習支援を１時間と３０分間のレクレーション活動を行います。これらの活動を通して、算数学習への意欲と知識・技能を向上させて、学習の仕方を児童に習得させることをねらいとしています。
成果	算数がわかるようになった、勉強に集中できるようになった、説明が前よりうまくなったなど児童の肯定的な反応が多く得られています。また、保護者からも、行かせてよかったという多くの声をいただいています。そして、指導する学生自身も将来教師になる上で貴重な体験ができ、多くの学びを得ています。このように児童・学生の双方にとって有益な成果を得ています。

研究者・研究グループからの「ひとこと」

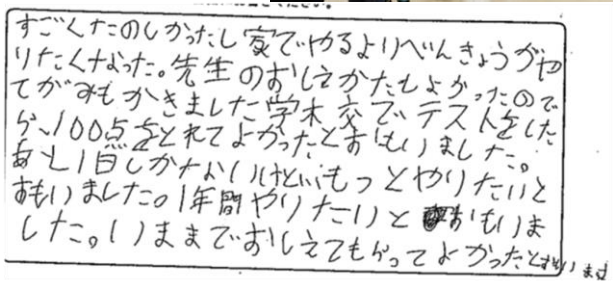
「地域の子どもたちの成長のために」を第一義に、そして「学生の成長のために」をその次に、算数の学習支援活動を継続して進めてきました。算数の学習の仕方がわからない、算数がわかるようになりたい、塾に通うのはどうも・・・という小学生や保護者の方がいらっしゃいましたら、メール（rabiroom@mukogawa-u.ac.jp　代表　神原）にてお問い合わせください。

活動内容ＰＲ(活動の様子・参加者の声等)

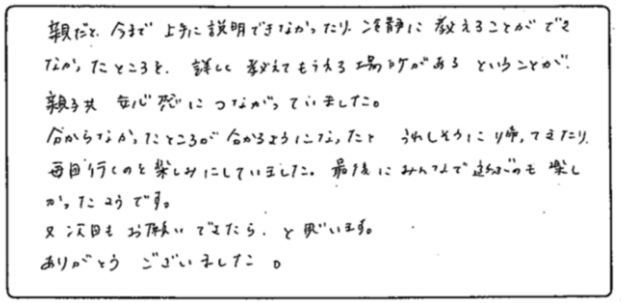
①学習活動の様子

②レクレーション活動の様子

③ある児童の声



④ある保護者の声



2018.8 作成